

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年 2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 A D E K A

コード番号 4401 URL <https://www.adeka.co.jp>

代表者 （役職名） 代表取締役社長兼社長執行役員 （氏名） 城詰 秀尊

問合せ先責任者 （役職名） 取締役兼執行役員

（氏名） 正宗 潔

TEL 03-4455-2803

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期第3四半期	296,384	3.5	30,081	25.1	29,672	20.7	19,208	16.7
2024年3月期第3四半期	286,491	△3.3	24,046	1.2	24,580	1.0	16,455	12.1

（注）包括利益 2025年3月期第3四半期 23,922百万円 （△1.6％） 2024年3月期第3四半期 24,305百万円 （18.4％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	188.42	—
2024年3月期第3四半期	161.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年3月期第3四半期	547,714	350,120	53.9
2024年3月期	543,057	339,682	52.5

（参考）自己資本 2025年3月期第3四半期 295,365百万円 2024年3月期 285,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2025年3月期	—	48.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	49.00	97.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	426,000	6.6	41,100	16.0	39,200	9.6	24,500	6.6	240.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※1株当たり当期純利益は、最新の期末発行済株式数（2024年12月末。自己株式を除く。）を用いて算出しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	103,768,142株	2024年3月期	103,768,142株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	2,032,427株	2024年3月期	1,636,449株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期3Q	101,942,174株	2024年3月期3Q	102,199,751株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 当社は株式給付信託 (J-ESOP) 制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2024年4月1日から同年12月31日）における世界経済は、中国経済の低迷や地政学リスクの高まりにより先行き不透明な状況が続くなかで、米国経済の底堅い成長に支えられ緩やかに回復しました。

このような情勢のもとで、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

連結経営成績

(単位：億円)

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
売上高	2,963	2,864	98	3.5
化学品	1,674	1,534	140	9.2
樹脂添加剤	803	754	49	6.6
電子材料	325	289	35	12.4
環境材料	545	490	54	11.2
食品	630	637	△6	△1.0
ライフサイエンス	613	632	△19	△3.0
その他	44	60	△15	△26.4
営業利益	300	240	60	25.1
化学品	227	180	46	25.8
樹脂添加剤	84	60	24	40.5
電子材料	82	73	8	12.2
環境材料	60	47	13	28.1
食品	37	28	8	30.2
ライフサイエンス	30	18	11	65.1
その他	5	12	△6	△55.8
経常利益	296	245	50	20.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	192	164	27	16.7

(注)金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入。

報告セグメント別の概況は3ページのとおりで。

なお、2024年7月1日付の組織改定に伴い、化学品事業のサブセグメント名称を変更しました。

従来の「情報・電子化学品」を「電子材料」に、「機能化学品」を「環境材料」にそれぞれ改称しました。また、コーポレート研究を進めてきた電池材料を「環境材料」に組み入れました。

(化学品事業) 増収・増益

化学品事業を構成する樹脂添加剤、電子材料、環境材料の概況は以下のとおりです。

① 樹脂添加剤 増収・増益

ワンパック顆粒添加剤や難燃剤の販売は、サプライチェーンにおける余剰在庫の解消を背景に、顧客の樹脂生産が増加し前年同期より好調に推移しました。塩ビ用安定剤の販売はアジアでは苦戦したもの、北米では住宅内装材向けを中心に好調でした。

○主要因

売上高	(好調) ワンパック顆粒添加剤 (プラスチック製品全般) (好調) 難燃剤 (家電筐体) (好調) 塩ビ用安定剤 (住宅内装材) (堅調) 酸化防止剤 (エンジニアリングプラスチック)
営業利益	(+) 価格、数量、為替 (−) 固定費

② 電子材料 増収・増益

半導体では、生成A I 関連の需要拡大が続くなか、先端D R A M向け高誘電材料の販売が好調に推移しました。配線の微細化に対応した先端フォトレジスト向け光酸発生剤の販売も拡大しました。ディスプレイ関連では、ブラックマトリクス樹脂の販売が新規採用と中国での拡大により好調でした。

○主要因

売上高	(好調) 高誘電材料 (先端D R A M) (好調) ブラックマトリクス樹脂 (ディスプレイ) (堅調) 光酸発生剤 (先端フォトレジスト) (低調) エッチング薬液 (ディスプレイ)
営業利益	(+) 数量 (−) 固定費、価格

③ 環境材料 増収・増益

住宅等の建築塗料に使用される反応性乳化剤の販売が、インドや中国での拡大により好調に推移しました。エンジンオイルに使用される潤滑油添加剤の販売が、ハイブリッド車向けでの拡大、東南アジアの二輪車向けでの採用拡大により堅調でした。

○主要因

売上高	(好調) 反応性乳化剤 (建築塗料) (堅調) 潤滑油添加剤 (自動車用エンジンオイル) (好調) 特殊エポキシ樹脂 (電子機器)
営業利益	(+) 数量、為替 (−) 固定費

(食品事業) 減収・増益

中国での販売低調、子会社再編の影響や品種統合により減収となりました。一方、東南アジアでは機能性油脂の販売が好調に推移しました。国内では製パン向け練り込み油脂や機能性マーガリン「マーベラス」シリーズ、プラントベースフード「デリブランツ」シリーズの販売が好調でした。

○主要因

売上高	(好調) 練り込み油脂や機能性マーガリン「マーベラス」シリーズ等 (製パン) (好調) プラントベースフード「デリブランツ」シリーズ (製パン、カフェ等)
営業利益	(+) 価格、数量 (−) 固定費

(ライフサイエンス事業) 減収・増益

農薬は、天候不順の影響によりインドでの販売が低調に推移しました。一方、損益面では、ブラジルでの原材料価格の下落により収益性が改善しました。医薬品は、国内の爪白癬向けで需要が減少し、外用抗真菌剤「ルリコナゾール」の販売が低調でした。

○主要因

売上高	(低調) インド／農薬全般 (低調) 国内／爪白癬向け外用抗真菌剤「ルリコナゾール」 (好調) 北米、欧州／除草剤 (堅調) ブラジル／殺菌剤等
営業利益	(+) 価格、為替 (－) 固定費

(2) 当四半期の財政状態の概況

連結財政状態

(単位：億円)

	当第3四半期末	前年度末	増減	増減率(%)
資産合計	5,477	5,430	46	0.9
負債合計	1,975	2,033	△57	△2.8
純資産合計	3,501	3,396	104	3.1

(注)金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入。

○主要因

(資産合計) 棚卸資産の増加

(負債合計) 短期借入金の減少

(純資産合計) 利益剰余金の増加

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年11月12日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,429	108,319
受取手形、売掛金及び契約資産	116,937	101,918
有価証券	5,498	5,496
商品及び製品	64,236	69,996
仕掛品	8,464	8,887
原材料及び貯蔵品	41,919	47,736
その他	12,490	11,461
貸倒引当金	△1,378	△1,480
流動資産合計	346,598	352,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,134	39,932
機械装置及び運搬具（純額）	35,684	34,613
土地	31,467	30,121
その他（純額）	19,553	20,722
有形固定資産合計	126,840	125,389
無形固定資産		
技術資産	4,476	3,730
顧客関連資産	2,328	2,208
その他	9,692	9,380
無形固定資産合計	16,497	15,319
投資その他の資産		
投資有価証券	42,013	43,689
その他	11,106	10,979
投資その他の資産合計	53,119	54,669
固定資産合計	196,458	195,378
資産合計	543,057	547,714

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64,903	69,158
短期借入金	26,780	20,920
未払法人税等	4,827	2,933
賞与引当金	3,587	1,874
環境対策引当金	—	1,057
その他の引当金	126	63
その他	34,202	25,838
流動負債合計	134,427	121,846
固定負債		
社債	14,381	15,465
長期借入金	22,283	27,594
退職給付に係る負債	20,526	20,638
環境対策引当金	—	927
その他の引当金	71	421
その他	11,684	10,700
固定負債合計	68,947	75,747
負債合計	203,374	197,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,048	23,048
資本剰余金	20,181	20,348
利益剰余金	213,125	222,298
自己株式	△3,375	△4,669
株主資本合計	252,979	261,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,665	12,748
繰延ヘッジ損益	—	1
土地再評価差額金	3,330	3,330
為替換算調整勘定	17,147	18,208
退職給付に係る調整累計額	20	51
その他の包括利益累計額合計	32,163	34,339
非支配株主持分	54,539	54,754
純資産合計	339,682	350,120
負債純資産合計	543,057	547,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	286,491	296,384
売上原価	212,593	212,349
売上総利益	73,898	84,034
販売費及び一般管理費	49,851	53,953
営業利益	24,046	30,081
営業外収益		
受取利息	1,583	1,669
受取配当金	768	819
持分法による投資利益	502	668
デリバティブ評価益	—	398
為替差益	1,143	—
その他	480	873
営業外収益合計	4,478	4,428
営業外費用		
支払利息	2,461	2,532
デリバティブ評価損	938	—
為替差損	—	1,854
その他	545	450
営業外費用合計	3,944	4,837
経常利益	24,580	29,672
特別利益		
固定資産売却益	43	1,365
投資有価証券売却益	610	79
特別利益合計	653	1,445
特別損失		
固定資産廃棄損	383	294
投資有価証券評価損	—	22
関係会社株式評価損	15	—
環境対策費	—	1,984
特別損失合計	398	2,301
税金等調整前四半期純利益	24,835	28,815
法人税、住民税及び事業税	7,526	8,400
法人税等調整額	△385	△458
法人税等合計	7,141	7,941
四半期純利益	17,694	20,873
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,238	1,665
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,455	19,208

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	17,694	20,873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,802	292
繰延ヘッジ損益	42	2
為替換算調整勘定	4,143	2,013
退職給付に係る調整額	2	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	620	753
その他の包括利益合計	6,610	3,048
四半期包括利益	24,305	23,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,444	21,384
非支配株主に係る四半期包括利益	2,860	2,538

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっています。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

一部の子会社については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品 事業	食品 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	153,415	63,740	63,283	280,440	6,051	286,491	—	286,491
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	126	278	6	411	15,405	15,817	△15,817	—
計	153,542	64,019	63,290	280,852	21,456	302,309	△15,817	286,491
セグメント利益	18,079	2,884	1,839	22,803	1,137	23,941	105	24,046

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。
- 2 セグメント利益の調整額105百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品 事業	食品 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	167,474	63,088	61,366	291,929	4,455	296,384	—	296,384
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	153	118	8	280	11,189	11,469	△11,469	—
計	167,627	63,207	61,374	292,209	15,644	307,853	△11,469	296,384
セグメント利益	22,738	3,755	3,037	29,531	402	29,934	147	30,081

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。
- 2 セグメント利益の調整額147百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	12,500百万円	13,145百万円